

## 2021年2月度 定例所長会見 所長所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- また、「当社社員が他人のIDカードで不正に入域したこと」および「7号機の安全対策工事が一部未完了であったこと」など、地域のみなさまに、大変なご心配をお掛けしておりますこと、重ねてお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しをさせていただきます。

### < 1. ID不正使用・安全対策工事未完了について >

- はじめに、冒頭申し上げた「不正入域」および「安全対策工事の一部未完了」についてです。
- 本件につきましては、15日に原因と対策、今後の対応ならびに人事措置について公表させていただきました。
- 会見でもご説明させていただきましたが、不正入域の件につきましては、3月10日までに、根本的な原因分析を伴う「不正入域に関する改善計画、およびその実施結果」を原子力規制庁に報告する予定です。
- また、安全対策工事の一部未完了につきましては、本社と発電所の責任者にて構成した改革チームにより、総点検を実施しているところです。
- その進捗状況につきましては、2月末を目途に改めてご報告したいと考えております。

- いずれの事案につきましても、改革チームにより、その背景にある共通要因の調査を進め、発電所全体の品質向上に向けた再発防止対策に取り組んでまいります。

## <2. 「地域の皆さまへの説明会」について>

- 次に「地域の皆さまへの説明会」についてです。
- 7号機の新規制基準に基づく安全対策工事の状況など、広く県民の皆さまにご説明させていただく「地域の皆さまへの説明会」を、1月に柏崎市・刈羽村、2月に長岡市・上越市・新潟市の、計5か所で開催いたしました。
- 多くの皆さまにご来場いただいたことに感謝申し上げます。
- 不正入域や7号機の安全対策工事の一部未完了の内容も含め、地域の皆さまに発電所の状況をご説明させていただきました。
- また、会場での質疑や終了後に記入いただいたアンケートの中で、「ID問題の件で東電の信頼性はまた薄れた」「企業体質は容易には変わらないと思われても仕方ない」といったご意見をいただいております。
- このようなご意見を、しっかりと受け止め、発電所の責任者として、行動と実績で、地域の方から少しでも信頼いただけるよう対応してまいります。
- 本日、私からは以上です。

以 上